

**寒～い冬が  
好きになる家**



快適で省エネ、  
寒さを感じさせない  
家づくり宣言。

- トイレや廊下等、  
家じゅうどこにいても  
暖かい家をつくります！
- 独自のシステムで超省エネ・  
省コストを約束します！
- 調湿機能により高耐久性となり  
家が長持ちします！
- 快適な湿度と温度で  
いつもきれいな空気の家をつ  
くります！

**こげ建設の家づくり**



**防災グッズは何を  
用意すればいい？**

大規模な地震災害が発生して  
ライフラインが止まった場合、家族  
の命を守るためにどのようなもの  
を準備しておかなければならな  
いのでしょうか。

■飲料水  
一人一日3リットルが目安  
(飲料のみで3〜4日分)

■非常食  
保存期間が長く火を通さなくても  
食べられる食品(レトルト食品・イン  
スタント食品・クラッカー・缶詰など)  
変換可能な日用品をストック)  
保存可能期間は2年から5年  
のものが理想的。



発行/こげ建設(株)  
八頭郡八頭町宮谷200番地2  
TEL (0858) 72-0029 FAX (0858) 73-0668  
E-mail: info@koge.co.jp  
<http://www.koge.co.jp>

Boo Foo Woo  
Vol. 63  
2014.1.25 Sat

温度と湿度の  
バリアフリー  
家の隅々まで  
ほかほか暖かい！

**Fas**  
高気密 高断熱  
ファースの家

Never give up  
  
がんばろう日本！  
つなげる想い・  
つなげる希望



**親子で備え**

東日本大震災から約3年経過しました。被災者の  
方々の経験から役立つ備えを学びましょう。

★電気ガス水道のない暮らしがたいへんだった！  
すべての家電が使えず、ガス調理もできず、お風  
呂もトイレも困りました。日ごろから親子で防  
災キャンプみたいなものをしていたらよかったです  
と思いました。非常時に必要なものが分かっていた  
かなと思います。

★あわてて子どもをだっこして避難してしまっ  
子どもにくつを履かせていなくて失敗。途中で歩  
かせるわけのいけず、避難所でも靴がなくて  
不自由な生活。

★子どもが避難所のトイレが使えず便秘に！  
避難所の仮設トイレは和式できれいとはいえな  
い状態。和式トイレで用を足したことなかった  
子どもは便秘に普段から和式トイレを使う訓  
練をさせておけばと反省しました。

★子どもと連絡方法を確認していなかった！  
震災時勤務中で、子どもたちが学校と家のどち  
らにいるのかわからなくて不安が募りました。  
帰宅できたのは夜中で、非常時にどこで待っ  
ているようにするのか、どうやって連絡を取る  
のか、ルールを決めておくべきでした。

★家中にガラスの破片が飛んで子どもを下に寝かせ  
れなかった！  
食器や窓ガラスが家中に散乱していました。  
一部屋でいから窓に飛散防止フィルムを貼る  
などして、ガラスが飛び散らない部屋を作っておけ  
ばよかったですとおもいます。

**どん太くんのちょっといい話**



**どこかでお  
聞いたことがある？  
お酢の力**

冬になると車のフロントガラスに氷が張ることがあります。  
現在のフロントガラスは複数構造になっており、事故などの衝突時にはガラスが飛散しないようになっています。  
このため熱いお湯を掛けると、急激な温度変化によりガラスが割れる可能性も…。  
裏ワザとして、前日にお酢をスプレーしておけば凍らないのだそうです。ぬるま湯を準備する手間よりは断然楽です。



うちのお父さん、新年の仕事始めに出た途端、会社から？インフルエンザA+をもらってきました。  
もうちょっといいものをもらってあげればいいのに…。  
医者のお診を受けて帰るなり即隔離。約3日間寒い寒いと電気あんかをかかえて寝ていましたが、なんとか元気になりました。  
日ごろから手洗・うがいは人一倍気をつけているのに…。先BTVでしてました、インフルエンザウイルスは、飛沫感染で体内に  
入り30分程度で増殖をはじめると、怖いですね～。